

御家かえる

suaki kazem presents

1

田舎の夏と
淫らな君と

*inakano natsuta
midarana kimito*

夏、いつかの
彼女と
汗だくで
交わって...

田舎の夏と淫らな君と

～夏、いつかの彼女と汗だくで交わって…～

第1話

田舎の家は暑くて

彼女の体温も熱くて

透クン…

溶けてしまいうさな夏の始まりだ

ほあ♡

ほあ♡

ほあ♡

ほあ♡

ほあ♡

ほあ♡



—あつっ…

足が痛え…

ミーン…

ミーン…

ミーン…

数年ぶりに
故郷に帰省した

祖母の体調が
悪いらしい

ふうっ…

道がわからないな
スマホで…



人通りも
全然…

圏外…

困った…
実家とはいえ
道が全然
わからないのに！

誰かに聞くしかー

マジかよ！





数年ぶりに帰省
したんですけど

昔の記憶を
なくしてしまつて
道がわからなくて

…どうしたん
ですか？

ううん
別に

目的地はどこ？

ええーと
ここなんですけど

ここなら
徒歩で1時間ない
くらいかな

1時間…

でもバスに
乗ったほうがいいね
足のケガに
響いちゃうよ？

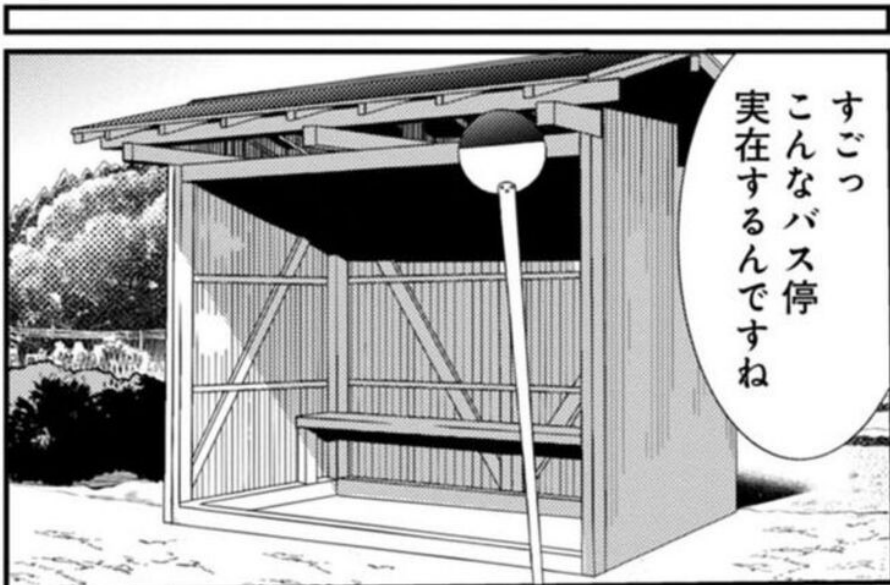
そうですね
助かります

—あれ



確かに昔——
交通事故で足を
悪くしてるけど

俺
足のケガのこと
言っただけ？



すごっ
こんなバス停
実在するんですね



映画や漫画でしか
見たことない

あはは
そうなの？



よいしょ

あと2時間もすれば
バスが来るから



2時間後!?





そっか…



中学生の頃までの
記憶はほとんど
ないんです
昔はここに住んでた
らしいんだけど…
全然覚えてなくて



……

……

……

……

……



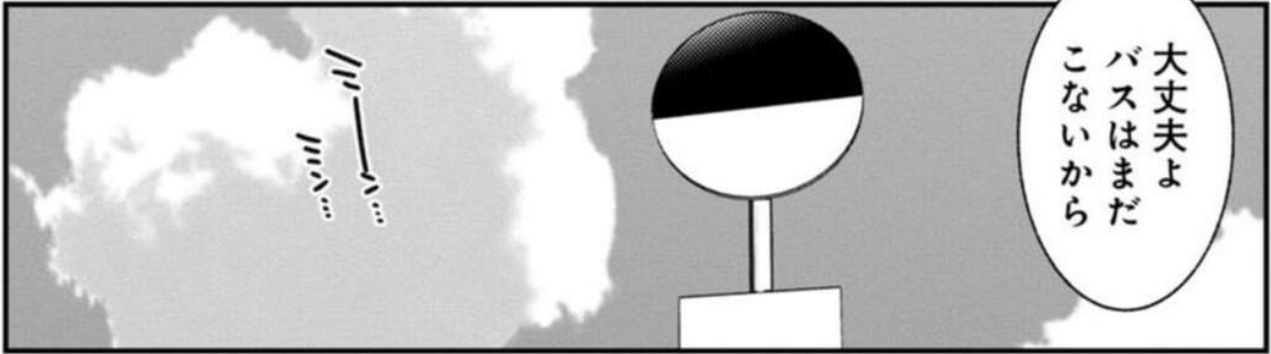
エッチしない？



昔の知り合い
みたいだけど
覚えてないから
一体何を話せば…

…ねえ





大丈夫よ
バスはまだ
こないから



ん…
はあ…

くっく
くっく
嘘だろ…



外でこんなこと…
絶対ヤバいの

くっく
くっく
ほみ…
ほみ…
わん
くっく



止められない…

はあ…

はあ…

はあ…



初対面でこんなこと
あり得ないのに



柔らかい

華奢で細くくへて

髪もふわふわでー

どうしてこんなにも
愛しいんだろ

ドキドキ

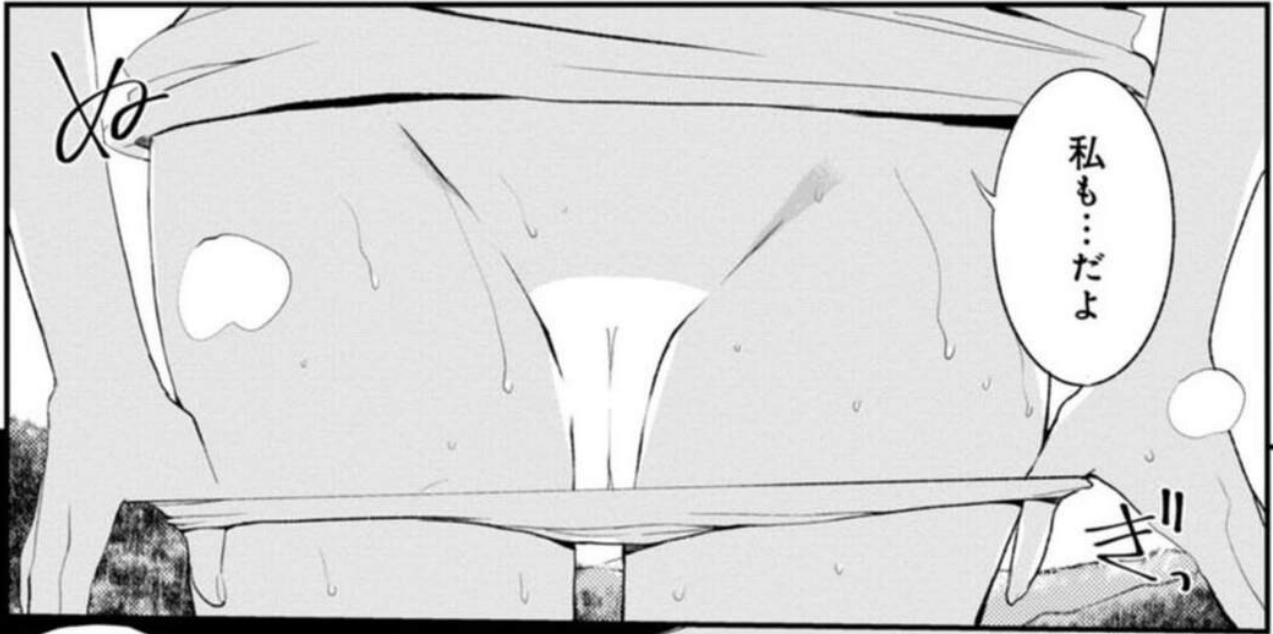
ドキドキ

はっ

透くん…

大きくなってる

透くんも
エッチな気持ちに
なってるんだね



私も…だよ

ねもう
我慢できないの

挿れて…
透くん

ぽっ



気温も
この子のナカも

はあん…♡

何もかも熱くて
ほろっとする…





んっ…
気持ちいいっ…？

はいっ…

私もっ…

んっ



あっ♡
そこ好き...♡

ここですか...??

きゅん♡
んっ♡

奥...
気持ちいい...♡

不思議と彼女の
求めることがわかる
。素直に悦ぶ
。彼女の体のせいなのか



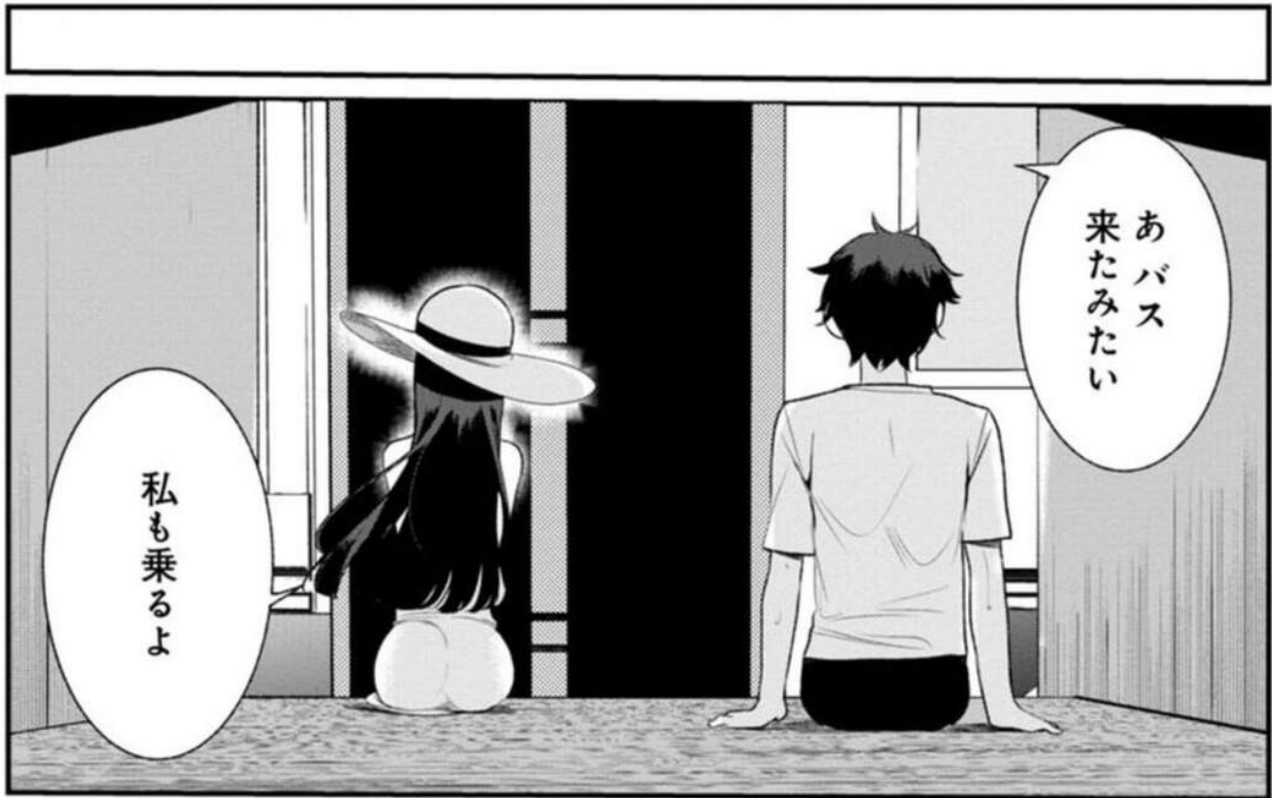
んっ♡

それとも











じゃあ…
また会おうね

透くん…♡



あもうすぐ
着くみたい



あ

また…って



何だったんだろう
あの子…

……

婆ちゃんの体調は
なんてことなかった

ただの夏バテだと
人騒がせな…



でも記憶はないけど
不思議と懐かしくて

みんな俺のことを
歓迎してくれた

どうしてこの村を
離れたんだろう



どうして記憶を
なくして
しまったんだろう



—それを聞くと
みんな濁すので
分からない





降りてきた

隣に住んでたんですか！

ごめんね
びっくり
させたくて



これからは
毎日会えるね

だから…また
エッチしようね？



俺の夏休みは
とんでもない日々
なりそうだ

っ…！

！！！！

田舎の夏と淫らな君と

～夏、いつかの彼女と
汗だくで交わって…～

1

御家かえる

© 御家かえる / 秋水社 ORIGINAL

▼秋水社の作品が1話無料で読める！

<https://www.shusuisha.com/>

▼著者へのお便り、作品に対するご感想は

上記サイト内お問い合わせページか

下記住所まで

〒112-0004

東京都文京区後楽 2-3-25 金子ビル 4F

※本作品の無断転載・複製・複写・上映（インターネット上を含む）を禁じます。

※本書を第三者に依頼しスキャンや電子化することは一部の例外を除いて

著作権法上禁じられています。